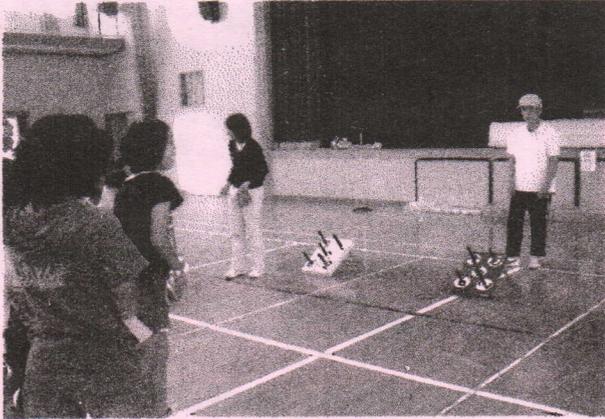


第22号  
平成21年11月10日  
発行  
「市民活動情報紙  
なると」編集委員会

# 市民活動 情報紙なると

鳴門市ボランティア  
連絡協議会  
☎685-7170  
鳴門市市民活動  
支援センター  
☎685-7170



## 第15回川東地区三世代ふれあいフェスティバルが開かれました

「第15回川東地区三世代ふれあいフェスティバル」が10月3日、林崎小学校体育館で開かれました。子どもたちはお年寄りから、けん玉・輪投げ・お手玉・木ごまなどのやり方を教わりチャレンジしました。最後に全員で紙飛行機を折って飛ばし楽しい時を過ごしました。

### NPO 法人ほっこりタイムの活動

NPO 法人ほっこりタイム理事長 乾 安奈

「ほっこりタイム」の名称には、地元の特産品であるなると金時芋が蒸しあがった時のように、ほっこりとした時間を過ごせたらとの願いを含め、昨年12月に設立しました。

現在、鳴門市とその近郊のシニアの方々約20名ほどが事務所でもある喫茶店に集まり、毎月第1、第3木曜日に講師を招いて「シニアの勉強会」を開いています。勉強会では生活習慣病や食事療法、カイロプラクティックなど体や健康に関する事、資産運用や防災・防犯対策、地上デジタルなど生活に役立つ事、楽しみながら過ごせるマジックショーやギター演奏、バルーンアートなども取り入れています。

その他の活動として、紺屋町で開かれている「徳島わくわく日曜日」に8月より出店し、会員さんの自宅で収穫したレンコン、なると金時芋、生野菜を販売しています。

今後は、シニアの方だけでなく、精神障害を持った方やその家族に対し活動の場を提供し、創作的活動・生産活動を通じて地域が助け合い、地域の交流により、協調性やコミュニケーション能力の向上を図り、精神障害者の社会参加に寄与していきたいです。



バルーンアートの制作風景

## 伝統文化「観音おどりと夏の夕べ」

木津神地区自治振興会会長 棟田 正美

平成 21 年 8 月 8 日 (土) 18 時～20 時、木津神地区長谷寺境内で「観音おどりと夏の夕べ」が開催されました。前日は鳴門市の花火大会があり、当日は鳴門市の阿波踊り初日となりましたが、木津神地区の皆様方の熱心な協力を頂きまして盛会に行なうことが出来ました。

長谷寺は木津にあり、正式の寺名は豊山神楽院長谷寺といいます。宗派は高野山真言宗で、ご本尊は十一面観世音菩薩です。文明 12 年 (1480) 創建ですが、現在の本堂は弘法大師御入定 450 年の記念事業として改築され、昭和 61 年 (1986) 3 月に完工しました。

ご本尊である観世音菩薩の縁日は毎月 17 日、18 日ですが、これとは別に 7 月 9 日または 10 日に参訪した者は、この日 1 日で四万六千日(しまんろくせんにち)参訪したと同じ功德があるとされました。長谷寺の四万六千日の盆踊りはいつ頃に始まったかは分かりませんが、庶民文化が発達した江戸中期ではなかろうかと思われる多くの年月の間引き継がれてきました。

平成 8 年、木津神地区自治振興会が伝統文化を維持していこうと「観音おどり」として婦人会・子ども会とともに全面的に協力する体制をつくり、以後地域ぐるみの行事として行なっています。しかし、社会の変化や少子高齢化もあり、地区住民相互の助け合いや若い人の参加が少なくなりました。



観音おどりを踊る人たち

平成 21 年度「観音おどりと夏の夕べ」の準備委員会を 7 月 15 日 (水) 19 時 30 分から開催し、木津神地区自治振興会・社会福祉協議会・明和会・婦人会・子ども部会・世話人会の各役員の出席を得、実施計画を立てました。具体的には日時・内容の決定、練習、広報、舞台(檜)の設営・解体等、各担当でとりくみました。

当日は会長の挨拶から始まり、クイズ、ゲーム、観音おどり、お楽しみ抽選会、夜店と盛りだくさんの催しで、参加者約 300 名の思い出に残る夏の夕べになったと思います。

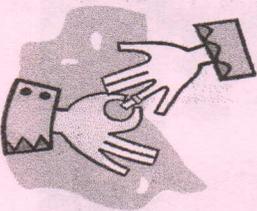
木津神地区の皆様が、おどりを通して三世代交流もでき本当に楽しい 1 日となりました。

## 和気あいあいと

NPO 法人デフコミュニティ「ろうわ」  
理事長 松田 さよ子

私たちの団体は聴覚障害者と聴者がお互いに対等な立場で助け合える地域社会を目指し設立しました。設立してからまだ日が浅く、今やっとお互いが求めているものを掴み始めたところです。

活動内容としては、主に自己啓発としての学習や趣味の講座を開いたりしていますが、お茶を飲みながらの交流は親睦の場として、また情報交換の場としてとても大切なものとなり、参加者が一番の楽しみとしています。



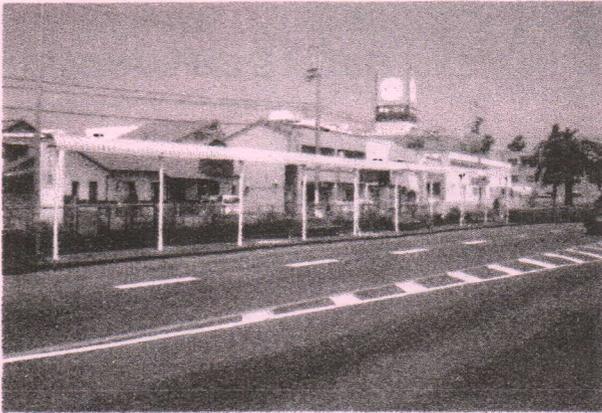
最近、市内の手話協力量販店のご支援により、情報の発進や地域の手話普及の場を提供していただき、お買い物に来た聴覚障害者の方の手話支援を行なっています。活動の輪が広がっていることをうれしく実感しているところです。

特に今年は、来年徳島で開催される第 44 回全国ろうあ者体育大会に向けてボランティアの養成、講習会への協力支援を行っています。地道に活動を継続していく中で、聴覚障害者聴者のパイプ役になりお互いの生活が広がる事を願っています。

最後に、「ろうわ」の「わ」の 和・輪・話をモットーに和気あいあいと活動して行きたいと思っています。

## 明るい停留所

福祉と環境をすすめる会会長 岡 徹郎



鳴門郵便局前停留所

私は、平成21年5月1日～14日まで毎朝7時30分から2時間程、鳴門市内6カ所の停留所のサビ落としやサビ止め・白ペンキ塗りを行いました。

きっかけは、大阪からの観光客に「市内の停留所が赤サビで汚いね。」と言われたことです。

ボランティア活動として自己負担でペンキの塗り替えをしました。とても明るい停留所になりました。前を通った時は見てください。

(鳴門郵便局前2カ所、西光寺前、黒崎小前、鳴門病院前2カ所)

## 新法人紹介

### 快てきペンギン村

鳴門市内に新しいNPO法人が誕生しました。よろしくお祈いします。

事務所 鳴門市瀬戸町北泊字北泊530-7

理事長 元木 照夫

目的 この法人は、鳴門市及び周辺地域に対して、新鮮な鳴門市北泊産の魚貝類を提供することにより、食の安全性において、食品偽装から消費者の保護を図り、観光底曳や海鮮バーベキューに関する事業を行なうことにより、まちづくりの推進や経済活動の活性化を図ることを目的とする。

分野 まちづくり・経済活動・消費者の保護  
事業 朝市で魚貝類販売・観光底曳・塩干物製造販売・海鮮バーベキュー 飲食

### 平成21年度四国ブロック 「環境NGO・NPO地域ワークショップ」

「環境NGO・NPO/知る、つながる、行動する one STEP↑のためのワークショップ！」

【日時】平成22年1月16日(土)  
10:30~16:30

【場所】郷土文化会館(あわぎんホール)  
会議室2、3、4、5

【内容】基調講演:宮城 治男氏  
(NPO法人ETIC代表理事)  
分科会(事例発表とワークショップ)

【対象】四国地域の環境NGO・NPOの個人  
又は団体関係者

【参加費】無料

【申込み/問い合わせ先】

NPO法人 環境とくしまネットワーク  
☎080-5666-2276  
FAX088-687-2276

### 全国食事サービスセミナー in 徳島

食から考えるコミュニティづくり 地域の地域による地域のための配食サービス

【日時】平成21年12月6日(日)  
13:00~16:00

【場所】郷土文化会館(あわぎんホール)  
5階 小会議室

【内容】基調講演:三宅 正弘氏  
(武庫川女子大学生活環境学科准教授)  
パネルディスカッション(生きやすいまちづくりを目指して)

【参加費】500円(弁当代込み)

【申込み締切り】

平成21年11月24日(火)

【申込み/問い合わせ先】

NPO法人 大きなエプロン

☎:FAX 088-624-0786

徳島市市民活力開発センター

☎088-611-3886

FAX088-624-3860

行事のお知らせ

## 助成金情報

### 2010年度助成 セブンイレブンみどりの基金

◎事業年度については、2010年3月1日～2011年2月28日までを2010年度（平成22年度）としている

#### 【環境市民活動助成（3種）】

##### ◇対象活動分野

1. 自然環境の保護・保全活動
  - (1) 森林・森林育成・保全により、森林の多面的な機能を発揮・維持するための活動や、林産物の活用を創造する活動
  - (2) 里地里山・里地里山での生物多様性を保持するための保全活動や、里地里山と人との関わりを創造する活動
  - (3) その他の自然環境・自然公園・自然環境保全地域などの保護地域、および海・河川・湖沼等の自然環境の保護・保全活動
2. 野生動植物種の保護・保全  
環境省または都道府県のレッドリスト絶滅危惧種Ⅰ・Ⅱ類・準絶滅危惧種に指定されている野生動植物の種、または生息・生育地の保護・保全活動（そのための外来種駆除を含む）
3. 体験型環境学習活動  
体験を一時的に終わらせず、継続的に行うことで次世代につなげていこうとする環境型の体験学習を指し、地域に根ざした明確な目的をもって行われる環境活動の体験を重視する学習
4. 環境への負荷を軽減する生活をテーマにした活動  
地球温暖化・3R（リデュース・リユース・リサイクル）などの環境問題を生活の中から考え、解決していくことをテーマにした活動

##### 【活動種類】

1. 実践活動
2. 普及啓発活動  
セミナー・シンポジウム・ワークショップの開催、書籍の発行などを行う活動

##### ◇助成の種類

- 活動助成
  - ・対象団体・NPO法人または任意の環境市民団体
  - ・助成金額・1団体あたり上限特になし（活動資金）
  - ・期間・1年間

##### ●広域連携促進助成

- ・対象団体・「環境の保全を図る活動」が活動分野として認証されている NPO法人が代表となり、複数の団体で構成されるプロジェクトチーム
- ・助成金額・1団体あたり上限200万（活動資金）
- ・期間・原則2年間継続

##### ●自立事業助成

- ・対象団体・「環境の保全を図る活動」が活動分野として認証され、かつ3年以上の活動実績がある NPO法人（2007年2月28日以前に NPO法人格を取得している団体）
- ・助成金額・1団体あたり上限440万円（事業資金・人件費）  
事業資金200万円（事務所家賃として、月額10万円を上限に充当することができる）+人件費240万円（専従者1名）
- ・期間・原則3年間継続

#### 【地域美化活動助成（2種）】

##### ◇対象活動

公共の場所やそれに準じる公共性の高い場所で、市民が主体となって企画し、継続して行っている清掃活動・緑や花を植える活動

##### ●地域清掃活動助成

- ・対象団体・年間を通じて定期的に清掃活動を行っている市民団体
- ・助成金額・1団体あたり上限20万円
- ・期間・1年間

##### ●緑化植花活動助成

- ・対象団体・継続的に活動し、名簿や年度毎の収支報告などがあり、組織的に活動を行っている市民団体
- ・助成金額・1団体あたり上限特になし（総額2000万円）
- ・期間・1年間

##### ◇締め切り

平成22年1月8日（金）当日消印有効

##### ◇問合せ先

セブン・イレブンみどりの基金〇〇助成係  
（〇〇には申請する助成名を記入する）

☎03-6238-3872

FAX03-3261-2513

